

何の問題もない発言を削除 数の暴挙 政和クラブ・市議会公明党・無党派が賛成

杉山元則議員の一般質問の発言について、「不適切な発言があった」と、発言の取り消しを求め、動議が出され、日本共産党市議団は、何の問題もない発言を取り消す必要がないと強く反対しましたが、政和クラブ・市議会公明党・無党派の賛成多数で可決し、杉山議員の発言の一部が取り消されました。



波多野こうめ 議員

ハタノ議員の質疑に 全く答えになっていない

(敬称略)

ハタノ：答弁内容を歪曲していると言いますが、その答弁内容は、どういったものだったのか。

水野：皆様にお配りされた資料のとおりです。

ハタノ：未定稿の議事録が配られています。これには杉山

元則議員の発言が載っているだけで、答弁は載っていないので、答弁内容を説明して下さい。

水野：今回は杉山元則議員の発言の取り消しを求め、動議でございまして以上です。

ハタノ：質問に答えてください。提出理由で答弁内容を歪曲しているのでは、杉山さんが、答弁を歪曲しているかどうか、その元の答弁を見なければわからないじゃないですか、それを伺っています。

水野：私も政和クラブで答弁内容も含めて精査して、今この時期に出させていた。ハタノ：市長の答弁がわからない以上、当然歪曲しているかどうか判断することができません。2つめの質問とし

て、今この時期に出させていた。ハタノ：市長の答弁がわからない以上、当然歪曲しているかどうか判断することができません。2つめの質問とし

動議の提出理由 (全文)

杉山元則議員は、学校校舎の老朽化問題並びに公共施設の老朽化問題を問う一般質問の中で、いかに市が嘘をついて市民をだましているかのごとく発言を繰り返し、やりとりの末、答弁内容を歪曲をして自分の主張を通そうとしたことは、市民に著しい誤解を招き、言論の府たる議会の秩序を乱し、議会の品位をおとしめるものである。

よって該当する発言の取り消しを求める

提出者 水野盛俊
賛成者 川瀬勝秀、川嶋一生、坂澤博光、仙石浅善、津田忠孝、瀬川利生、岩田紀正、指宿真弓、小島博彦、塚原甫、水野岳男

議員の基本的権利として発言の自由は保障されているはず。ところが問題発言なのか説明して下さい。水野：ただ今の質問は先に質問された7項目目と同じ内容だと解釈される部分もありますので先ほどのお答えとおなじです。

ハタノ：地方自治法第73条は、「議員は無礼な言葉を使用し、または他人の私生活にわたる言論をしてはならない」としています。地方自治法で言う品位を落とす発言とはなんですか。

水野：品位をおとしめる云々ですが、答弁した内容を歪曲という言葉を使っただけで動議をださなければいけません。この席にいた議員であれば執行部がどう答えたか、その内容を本人がどのように言い換えたのかご存じだと思います。

共産党は かつこいい

札幌 神保弁護士が応援演説

小池晃書記局長を迎えて1日、札幌市で行った日本共産党演説会で、神保大地弁護士の応援演説が感動を呼びました。赤旗記事を紹介しします。

☆

昨年子どもが生まれました。子どもに見られて恥ずかしい生き方をしようと思っっています。でも今の政治を見ていたら、恥ずかしくて子どもに見せられません。うそをつく、まともに説明しないで多数決で押し通す、自分のお友達をえこひい

まする、市民を平気で裏切る。私はこの2年ほど、野党共闘を求めて、いろんな行動に参加させてもらいました。その中で思ったことがあります。それは共産党の人たちは、かつこいいと言っています。

安法制(戦争法)の国会論戦でさまざまな内部資料を入手できていたのは共産党でした。野党共闘に率先して声を上げてくれたのも共産党でした。自分の政党の候補者でもないのに、全力で応援している姿があ

りました。他の党の意見を尊重し、陰で支える姿がありました。他の政党のゴタゴタがあっても辛抱強く待っている姿がありました。

共産党の方々を見て、本当に安倍政権を倒したいと思っっている信頼できるかつこいいと思いました。

私は、政党を名前で判断しません。選挙前にだけ並べられる、よさげな政策集でも判断しません。私はこれまでの実績と信頼で判断します。

だから私は、今回の選挙では共産党を応援します。安倍政権を倒すために、そして自由で民主的で希望あふれる平和な日本を取り戻すために、私は共産党を応援します。

